

(第二面)

証 紙 欄

(消印をしてはならない)

備考（宅地建物取引主任者登録申請書）

申請者は、*印の欄に記入しないこと

氏名の「フリガナ」の欄は、カタカナで姓と名の間に1文字分空けて左詰めで記入し、その際、濁点及び半濁点は1文字として扱うこと。また、「氏名」の欄も姓と名の間に1文字分空けて左詰めで記入すること。

「生年月日」、「認定年月日」及び「合格年月日」の欄は最初の□には下表より該当する元号のコードを記入するとともに、□に数字を記入するに当たっては、空位の□に「0」を記入すること。

(記入例) H—0:1年 0:8月 2:3日
(平成元年8月23日の場合)

M	明治	S	昭和
T	大正	H	平成

「性別」の欄は、該当する番号を記入すること

「住所市区町村コード」の欄は、下表により該当する市町村コードを記入すること。

「所在地」の欄は、□により記入した所在地市区町村コードによって表される市区町村に続く町名、街区符号、住居番号等を、「丁目」「番」及び「号」をそれぞれ-（ダッシュ）で区切り、上段から左詰めで記入すること。

「電話番号」の欄は、市外局番、市内局番、番号をそれぞれ-（ダッシュ）で区切り、左詰めで記入すること。

「本籍市区町村コード」の欄は、下表により該当する市町村コードを記入すること。

なお、外国籍の場合は 9:9:0:0:0 と記入すること。

「本籍」の欄は、□により記入した本籍市区町村コードによって表される市区町村に続く町名、街区符号、住居番号等を、戸籍のとおりを上段から左詰めで記入すること。

なお、外国籍の場合には記入しないこと。

「免許証番号」の欄

申請時の登録番号

山梨県知事登録 第000XXX号の場合の記入例

1	9	0	0	0	X	X	X
---	---	---	---	---	---	---	---

「実務経験に関する事項」の「商号又は名称」の欄は、左詰めで記入すること。

「実務経験に関する事項」について記入しきれないときは、欄外に必要事項を記入し、「合計」の欄は、欄外に記入した実務経験を含めて記入すること。

「期間」の欄は、それぞれ、最初の□に該当する元号のコードを記入するとともに、数字を記入するに当たっては、空位の□に「0」を記入すること

市区町村コード（山梨県）

甲府市	19201	甲州市	19213	西桂町	19423
富士吉田市	19202	中央市	19214	忍野村	19424
都留市	19204	芦川村	19327	山中湖村	19425
山梨市	19205	市川三郷町	19346	鳴沢村	19429
大月市	19206	増穂町	19361	富士河口湖町	19430
韮崎市	19207	鯉沢町	19362	小菅村	19442
南アルプス市	19208	早川町	19364	丹波山村	19443
北杜市	19209	身延町	19365		
甲斐市	19210	南部町	19366		
笛吹市	19211	昭和町	19384		
上野原市	19212	道志村	19422		

誓 約 書

私は、宅地建物取引業法第18条第1項第4号から第8号までに
該当しない者であることを誓約します。

平成 年 月 日

氏 名

印

山 梨 県 知 事 殿

実 務 経 験 証 明 書

		(フリガナ) 被証明者氏名	
実務経験先及び在職期間		証 明 者	
免許証番号		免許証番号	国土交通大臣 () 号 知事
商号又は名称			
職務内容		商号又は名称	
従業者証明書番号			
在 職 期 間	年 月 日から 年 月 日まで 月間	代表者氏名	印
免許証番号		免許証番号	国土交通大臣 () 号 知事
商号又は名称			
職務内容		商号又は名称	
従業者証明書番号			
在 職 期 間	年 月 日から 年 月 日まで 月間	代表者氏名	印
免許証番号		免許証番号	国土交通大臣 () 号 知事
商号又は名称			
職務内容		商号又は名称	
従業者証明書番号			
在 職 期 間	年 月 日から 年 月 日まで 月間	代表者氏名	印
在職期間計		年 月間	

備 考

- 1 証明は実務経験先の宅地建物取引業者等が行うものとし、申請者が宅地建物取引業者（法人であるときは、その役員）であるときは、他の宅地建物取引業者等が証明すること。
- 2 証明者が法人である場合においては、代表者が証明すること。
- 3 実務経験先の免許が変更されているときは、区別して記載すること。